

## 「シドニースプリングスクール参加報告書」

京都大学農学部1年 鄭東嬌

私は2015/2/28から2015/3/15まで、二週間にわたってオーストラリアに渡航し、シドニースプリングスクールに参加しました。この二週間の間、シドニー大学を訪問し講義を受けるだけでなく、現地の学生たちと交流し、様々なフィールドワークにも携わりました。短い時間でしたが、プログラムの内容はとても充実で、期待以上に言語力が鍛えられ、自分自身の成長が感じました。そして、シドニーの素晴らしい文化と美しい景色を十分堪能し、異なる西洋文化に触れて、留学意欲が一層高まりました。

シドニー大学で受けた英語の授業は単なる英語を勉強する授業ではなく、英語でオーストラリア文化、Cross Culture Communication と leadership について勉強する授業でした。今まで学校での勉強と違って、授業内私たちは受け身の立場で先生の話聞くのではなく、自発的に思考し、先生やグループメンバーに質問することによって lesson に携わりました。つまり、授業内のインタラクティブが重視されています。このようなインタラクティブに通じて、知識がより早く深く身に付けることができると実感し、これこそ勉強の本来のあり方だということがわかりました。それをきっかけに、これからの大学生活はどう送るべきかについて改めて考えました。また、現地の学生が受ける講義の見学にも行きました。講義自体はとても面白かったですが、自分の英語力の不足で一部の内容を聞き取れなかったことにととても悔しかったです。これから英語の勉強をいっそう頑張りたいと思いました。

英語の授業以外、フィールドワークの内容もとても充実でした。一周目の時、ファームを訪問し、ファーム経営者に持続可能な経営方式について興味深い話を伺いました。その後、ファームを見学し、オーストラリアのかわいい動物に触り合って、十分満喫でした。二週目の時は、シドニーのマントリービーチに行きました。スタッフからビーチの安全保障と救助の話を伺い、サーフィンを体験しました。これらのフィールドワークから、観光しながら勉強する楽しさを感じました。

この他、シドニーにある Japan Foundation を訪問するや現地の学生に日本文化の紹介などのアクティビティに参加しました。この二週間、たくさんの人と出会い、今までやったことがないことを挑戦し、自分に対する認識も思わず変わりました。今回のプログラムに参加するメンバー全員は皆それぞれ異なる学部、研究科、学年の学生ですが、二週間の付き合いでとても仲良くなりました。皆が留学生の私にとっても優しくしてくれて、たくさん助けてくれました。私は出発前に自分が集団生活に適應できるかどうかずっと心配しましたが、メンバーたちの支えで無事で楽しくやってきました。自分の内向きの性格もすこし変わったと感じました。語学力の進歩も、自分自身の変化も、今回のプログラムから得られた掛け替えのない宝物です。